

静岡県精神保健福祉協会

News Letter -No.18-

巻頭言

静岡県精神保健福祉協会 常務理事

松本 晃明（静岡市こころの健康センター 所長）

平成28年7月26日、神奈川県相模原市で痛ましい事件が起きました。

障害者支援施設「津久井やまゆり園」における殺傷事件は、皆様の記憶に鮮明に残っていることと思います。

今回の事件は、障害者への一方的かつ身勝手な偏見や差別意識が背景となって引き起こされたもので、衝撃はとても大きく、厚生労働省は「事件の検証及び再発防止策検討チーム」をすぐに立ち上げました。検討チームは急ピッチで議論を進め、昨年12月までに検討結果を取りまとめ、その内容が「報告書～再発防止策の提言～」として提示されました。

報告書では、まず第一に「偏見や差別意識を払拭し、『互いに人格と個性を尊重しながら共生する社会』の取組を進めることが不可欠」とあり、具体的には「政府は、障害者週間、政府広報などあらゆる機会を活用して、政府の姿勢や障害者差別解消法の理念を周知・啓発していくことが必要」、「学校教育をはじめあらゆる場での『心のバリアフリー』の取組を充実させるべきである」としています。

「また、容疑者は、精神障害による他害のおそれがあるとして措置入院となっていたが、今回の事件は極めて特異なものであり、地域で生活する精神障害の方々に偏見や差別の目が向けられることは断じてあってはならない」と強調されています。

静岡県精神保健福祉協会は、共生社会の実現のため、地域の先頭に立って啓発活動等を推進していく責務があります。

私自身は、以前の「静岡県精神保健福祉センター」所属から「静岡市こころの健康センター」に立場が変わりましたが、今後とも会員の皆様と力を合わせ、「心のバリアフリー」推進のための活動を重ねていく所存です。

今後とも、よろしく願いいたします。

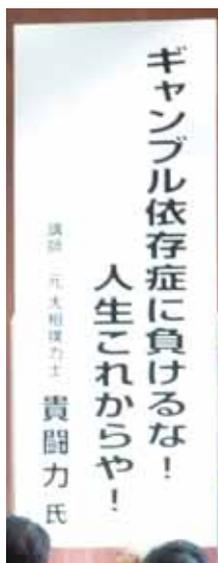


心の健康フェア2016開催



『心の健康フェア2016』を、平成28年11月25日（金）～12月1日（木）まで、静岡市民文化会館にて開催しました。「第38回ハートフルアート展」と「ギャンブル依存症に負けるな！人生これからや！」と題した講演会を開催し、県内の病院・施設職員や県民など、連日多くの方々の参加をいただきました。

フェア最終日の講演会は、今年度で4回目となり、131名の方にご参加いただきました。今年度の講師は、依存症アドバイザー 貴闘力氏です。元大相撲力士で、藤島部屋（のちに二子山部屋）から1983年3月初土俵を踏み、2000年3月場所には史上初の幕尻優勝を達成。2002年9月場所を最後に現役を引退、その後年寄・第16代大嶺を襲名し、大鵬部屋の親方となりました。また同時に、力士時代からギャンブル依存症に苦しまれた経験がございます。今回はこれまでのご自身の経験談を交えながら講演していただきました。



講演会を含め『心の健康フェア』が、県民の皆様の精神疾患や障害についての正しい知識・理解を深める機会になり、誰もが生き生きと生活できる地域づくりの一助となれば幸いです。



講演会終了後には、ハートフルアート展の表彰式を行いました。

受賞された皆様
おめでとうございます！



ハートフルアート展



静岡市民文化会館 4階B・C展示室を会場に、11月25日～12月1日まで、ハートフルアート展を開催しました。期間中は、延べ440名の入場者がありました。会場が明るく広く、ゆったりと見学できたと好評でした。

病院・クリニック・支援センターなど19団体が手芸品や絵画などの作品を出展しました。個人の部は5点の出展がありました。団体の部、個人の部にそれぞれ投票していただき、盛り上がりました。

12月1日には、講演会会場にて、バザーも開催いたしました。

<参加団体>

- ・伊豆函南病院
- ・Mネット東遠
- ・大富士病院
- ・清水駿府病院
- ・日本平病院
- ・新清水クリニックデイケア
- ・溝口病院
- ・富士心身リハビリテーション研究所附属病院
- ・第一駿府病院
- ・福田西病院デイケア
- ・焼津病院
- ・南富士病院作業療法室
- ・菊川市立総合病院
- ・小笠病院デイケア
- ・藤枝駿府病院
- ・静岡市支援センターなごやか
- ・地域活動支援センターふらっと
- ・地域生活支援センターおさだ
- ・脳外傷友の会「しずおか」

<バザー参加団体>

- 脳外傷友の会「しずおか」

第37回ハートフルアート展 受賞団体



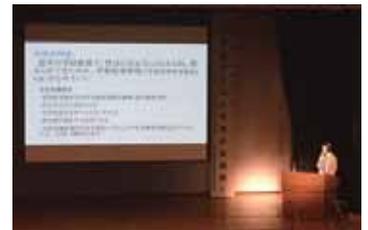
連日、多くの方が来場されました！！

こころの健康づくり講演会のご案内

精神保健福祉協会では、地域精神保健福祉思想の普及の向上及びその啓発を図り、県民の精神保健福祉の向上を資するため適当と認めた団体に対し、こころの健康づくり講演会開催の支援を行っています。2団体については、ニュースレターNo.17に紹介してあります。今回は、その後開催された講演会と、今後開催予定の講演会をご紹介します。

主催：静岡県臨床心理士会

- 平成28年6月26日（日） 静岡県男女共同参画センター あざれあ 大ホール
「市民公開シンポジウム学校臨床における性の多様性」
- ・一橋大学学生支援センター障害学生支援室 特任准教授 柘植 道子 氏
- ・静岡大学教職センター 准教授 松尾 由希子 氏
- ・定時制高校 教諭 前田 浪江 氏
- ・LGBTしずおか代表 細川 知子 氏
- ・LGBT当事者（大学生）



【講演会の様子】

性的マイノリティや学校における性の多様性についての実践や取り組みについて、お話をいただきました。当事者の方の経験談等を聞き、知らなければならぬことだが知らないことが多かったことに気づいたとの感想がありました。

主催：菊川市(健康づくり課)

- 平成28年9月3日（土） 菊川市総合保健福祉センター プラザけやき
「ストレスとの上手な付き合い方 ～ストレスマネジメント～」(株)フジEAPセンター マネージャー
池田 暁友 氏

【講演会の様子】

ストレスのメカニズムや良い睡眠のとり方、ストレス対処法についてのお話をいただきました。心の健康を保つためには、良い睡眠や規則正しい生活が基本だという事がわかった、運動などのストレスコーピングをもっと増やしていきたい、うつ病についての理解が深まった等の感想が聞かれました。

主催：菊川市精神保健福祉ボランティアあしたばの会

- 平成28年9月10日（土） 菊川市総合保健福祉センター プラザけやき201会議室
「障害のある人の高齢化を地域で支えるには」
- ・菊川市家庭医療センター・家庭医療専門医 綱分 信二 氏

【講演会の様子】

精神障がいのある人の高齢化を地域で支えるために生活で気を付けたいこと、上手な医療の使い方、地域に必要な支援等についての講演をいただきました。参加者からは、精神障がいのあるなしに関わらず、高齢化しても地域で生き生きと暮らすためのヒントになったとの声が聞かれました。



主催：特定非営利活動法人 こころ

- 平成28年10月1日（土） 金谷北地域交流センター 多目的ホール
「つながろうピアサポートの会」東部ピアサポートの会、なないろの会（NPO法人こころ内）

【講演会の様子】

近年活躍を目にする機会が増加しているピアサポーターの方々や当事者の方々を講師に呼び、病気の症状・悩み・ピアについてパネルディスカッションを行いました。当事者から直接ピア活動の状況や病気の悩みを聞く機会となり、ピア活動とは何かを知ることが出来ました。



主催：三島市保健委員会

■平成28年10月27日（木） 三島市立保健センター 本館大会議室
「こころの傾向を知ろう」臨床心理士 八木 阿紀 氏



【講演会の様子】

エゴグラムを使用した自己分析やストレスについて講演いただきました。自己分析を通して自分自身を知ることができた、自分に足りない部分があったため、そこを伸ばす方法を試したい等の感想が聞かれました。

主催：藤枝市（自立支援課）

■平成28年11月2日（水）、11月24日（木） 藤枝市保健センター 2階研修室
「藤枝市精神保健福祉講座」
第1回「心の病がありながら生きる人」
第2回「心の健康を保つメンタルヘルス」
・非特定営利活動法人こころ 施設長 菅原 小夜子 氏



【講演会の様子】

第1回は精神障がい者が自分らしく生きる事や精神障がい者が活躍する社会について、第2回は当事者と支援者が互いに生き生きとした生活を送るためのヒントについて講演いただきました。今回の講演が精神障がい者への関わり方を学ぶ機会となった等の声が聞かれました。

主催：牧之原市

■平成28年11月19日（土） 1回目：相良総合センター い～ら
2回目・3回目：総合健康福祉センター さざんか
「地域の障害者理解・啓発」合同会社 東風



【講演会の様子】

映画「みんなの学校」の上映や障害者施設等の紹介を行いました。参加者へのアンケートには、障がいのある人への理解や周りがどう関わる（支援）べきかということを感じることができ、障がい者理解のきっかけになったとの声がありました。

主催：裾野市（健康推進課）

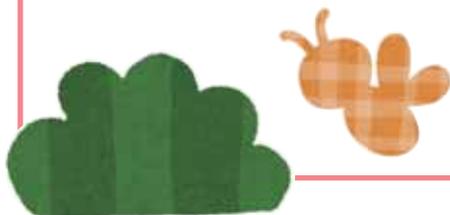
■平成28年11月25日（金） 裾野市生涯学習センター
「心と体に効く睡眠のとり方 ～夜はぐっすり、昼間もすっきり～」精神保健福祉士 澤登 和夫 氏

【講演会の様子】

こころの健康と睡眠のつながり、良質な睡眠をとるために大切なこと等についてお話をいただきました。参加者からは、自分の生活の中で変えられそう、睡眠の質について理解できた、自分に問いかけることがこころの健康を保つことにつながるということがわかった等の感想が聞かれました。

主催：伊豆の国市精神保健福祉会

■平成28年12月1日（木） 韮山時代劇場 映像ホール
「地域で心の健康づくりを進める講演会」エムオーエー奥熱海クリニック院長 佐久間 哲也 氏



【講演会の様子】

認知症への理解を深める為、講師の方の経験を交えながら具体的に講演していただきました。お互いが楽になれる嘘も時には必要であるということが分かりました。

主催：焼津市(地域福祉課)

■平成28年12月7日(水) 焼津文化会館 小ホール
「明日を明るくする人間関係 正しいSOSのとらえ方とコミュニケーション」
・GOOD リレーションズ研究所代表 親業インストラクター 松本 純 氏

【講演会の様子】

身近な人々の気持ちに寄り添い、ゲートキーパーとして相手のSOSをとらえるためのコミュニケーションについて学ぶ研修会を開催しました。講師の方は親子の関わりを中心に指導してこられましたが、そのノウハウが具体的に、親子に限らず全ての人間関係に役立つものでした。また、ADHDの息子さんとの経験談を聞いたことで更に心に響くものがありました。

主催：森町(保健福祉課)

■平成29年1月21日(土) 森町文化会館 小ホール
「こころの病を理解するための町民講座」やきつべの怪診療所 医師 夏苺 郁子 氏

【講演会の様子】

統合失調症とはどのような病気なのか、病気と向き合うこと、あきらめないためにできること、さらに地域の皆の理解が必要であることをお話いただきました。参加者からは、実体験に基づいたお話に心を打たれ感動したという声が多く聞かれました。

主催：掛川小笠地区精神保健福祉会ひまわり会

■平成29年2月9日(木) 掛川市総合福祉センター「あいり~な」
「こころ晴れ晴れ~あなたの不安や悩み、先生に聞いてみよう~」
・医療法人社団 リラ 溝口病院 副院長 西村勉 氏



来年度もこころの健康づくり講演会の募集を予定しています。

詳しくは静岡県精神保健福祉協会ホームページをご覧ください。 <http://www.mental-shizuoka.jp/>

第64回精神保健福祉全国大会にて、 厚生労働大臣表彰の授賞式が行われました!



平成28年10月13日(木)に群馬音楽センターにて開催された「第64回精神保健福祉全国大会」にて、厚生労働大臣表彰の授賞式が行われました。
今年度は、静岡県精神保健福祉士協会 相談役 原田 正美氏が受賞されました。

おしらせ

静岡県精神保健福祉協会総会について
日時：平成29年6月14日(水)
場所：静岡県男女共同参画センターあざれあ
大ホールにて
記念講演会・協会長表彰・知事表彰の受賞式も同時開催
予定

静岡県精神保健福祉協会

〒422-8031
静岡市駿河区有明町2-20 別館4階
TEL&FAX 054-202-1220
E-mail: sizuoka_seisin@ybb.ne.jp
(事務局出勤日 月・水・金の9時~16時)

